

1 NTT データ組織変更

Global 3rd Stage 到達に向けたNTTデータ組織再編

NTT データは大きく変化する事業環境の中で「Global 3rd Stage」の到達に向け、2021年7月1日付で「①公共統括本部の設置」、「②コンサルティング&ソリューション事業本部への名称変更」、「③コーポレート統括本部等の設置」の組織再編を実施した。

現中期経営計画の完遂と次期中期経営計画に向けた組織再編

昨年度からの新型コロナウイルス感染症により経済の回復は長期化しており、企業も厳しい事業環境にさらされAgainstな状況である。一方で、社会全体が新しい仕組みを創造することで企業業績の回復をしていくFollowの風が吹いている。当社は、こうして浮き彫りになった社会課題や環境の変化に対し、デジタル技術

を活用して社会やお客様事業の発展につなげるため組織再編を実施した。

1つ目は、デジタル庁創設や大幅な規制緩和、省庁横断の政策など公共領域を取り巻く急速な環境変化に対応するため、「公共統括本部」を設置した。同統括本部では、省庁等のDXビジネスの要として、公共ビジネスを担う3つの事業本部が有する強みを連携し、デジタル庁関連ビジネス等に対する方針の策定および事業創出を担う。生活者視点のデジタル・ガバメントや、

コンサルティングおよびテクノロジーコンサルティングの機能を、ソリューションを軸とするビジネスソリューション事業本部に集約し、組織名称を「コンサルティング&ソリューション事業本部」に変更した。同事業本部には、DXに求められるビジネス、デザイン、データ/AI、テクノロジーの各領域の専門性を持つコンサルタントと、幅広いグローバルソリューションの専門要員が所属し、各業界のDX支援のノウハウを生かし、企業や公共機関、さらに生活者を含む社会全体へ新たな価値を提供していく。

公共政策のDX化を全体最適の視点で捉えることで、よりよい公共システムの実現と当社ビジネスの拡大につなげていく。

2つ目は、当社がビジネスパートナーとして、お客様事業のデジタルを構想から実現まで一貫して牽引するため、これまで社内の複数部署に配置していたビジネスコンサルティ

ングおよびテクノロジーコンサルティングの機能を、ソリューションを軸とするビジネスソリューション事業本部に集約し、組織名称を「コンサルティング&ソリューション事業本部」に変更した。同事業本部には、DXに求められるビジネス、デザイン、データ/AI、テクノロジーの各領域の専門性を持つコンサルタントと、幅広いグローバルソリューションの専門要員が所属し、各業界のDX支援のノウハウを生かし、企業や公共機関、さらに生活者を含む社会全体へ新たな価値を提供していく。

3つ目は、Global 3rd Stageの到達に向けたコーポレート組織の見直しを図るため、「コーポレート統括本部」を設置し、技術革新統括本部内の購買部・ITマネジメント室・知的財産室をコーポレート統括本部へ移管した。コーポレート機能を有する組織を一元管理し、組織間連携に加えて全社戦略策定機能とガバナンスの強化を図り、また統括本部内の共通機能を集約し業務の効率化を図るとともに、コーポレート機能のさらなる強化に向けた組織体制の検討を行っていく。

以上の再編により、現中期経営計画の完遂と次期中期経営計画に向けて全社をあげて取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症により、環境は大きく変化



図1 事業環境の変化

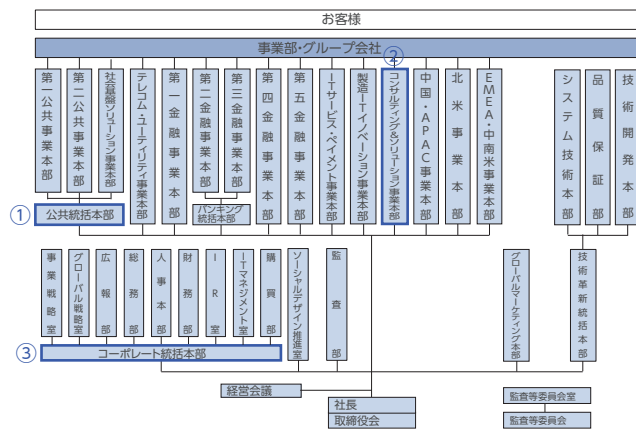


図2 NTT データ組織再編 (2021年7月1日~)